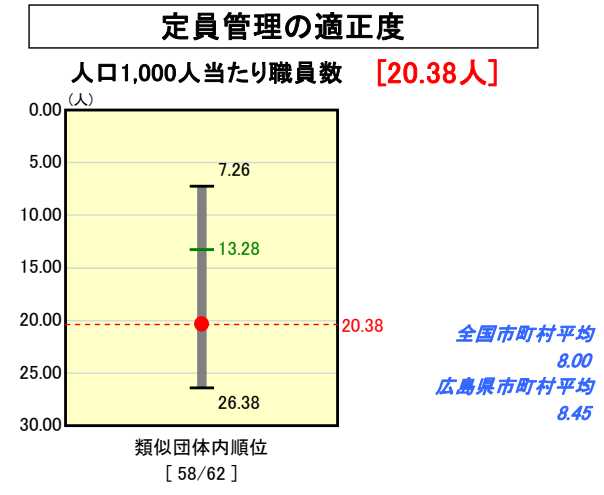
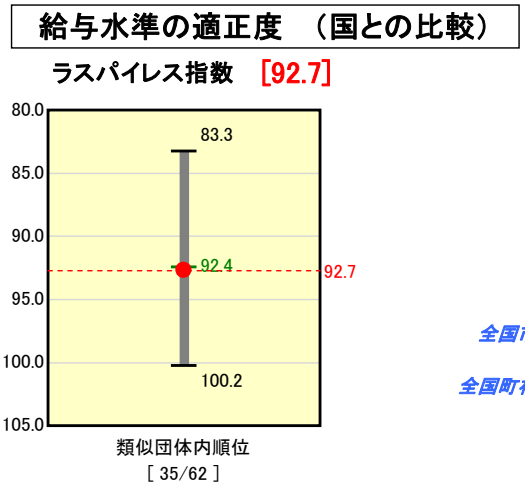
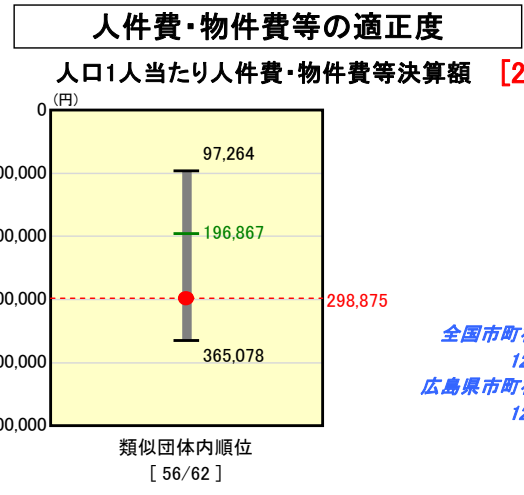
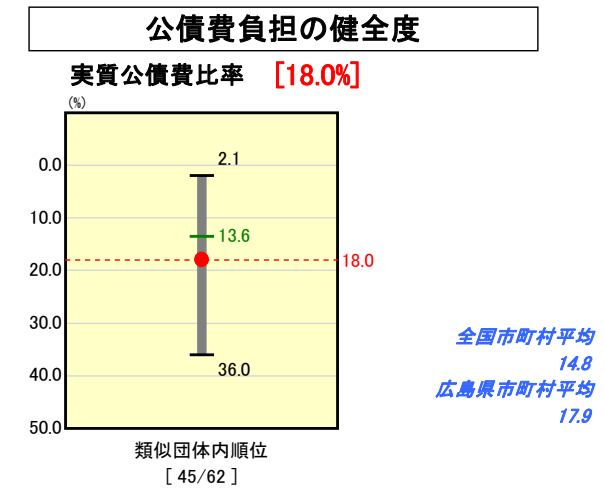
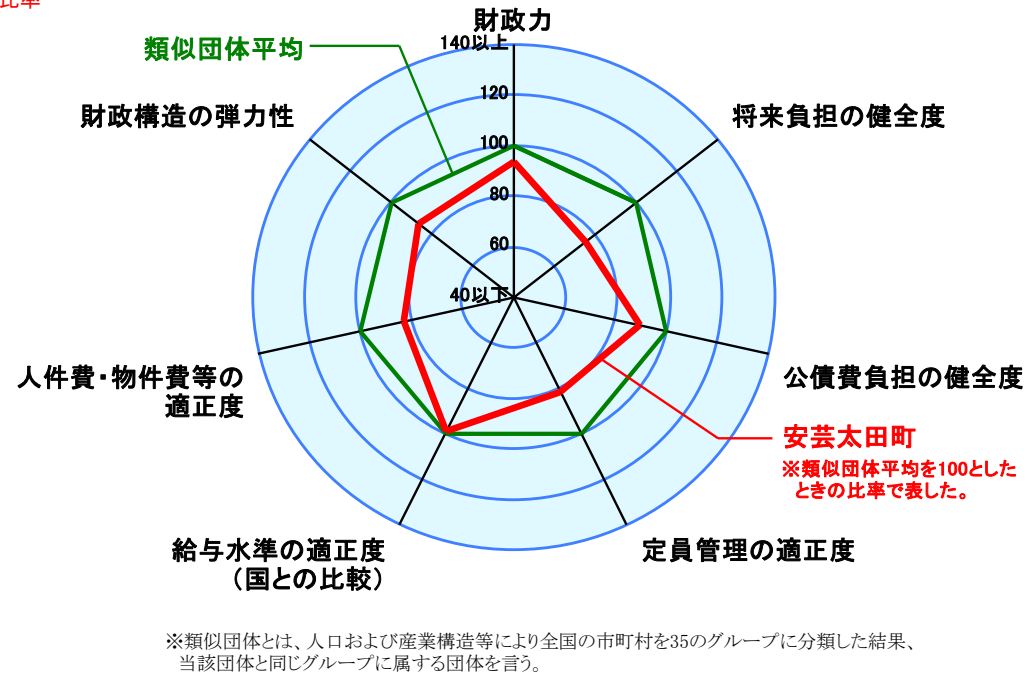
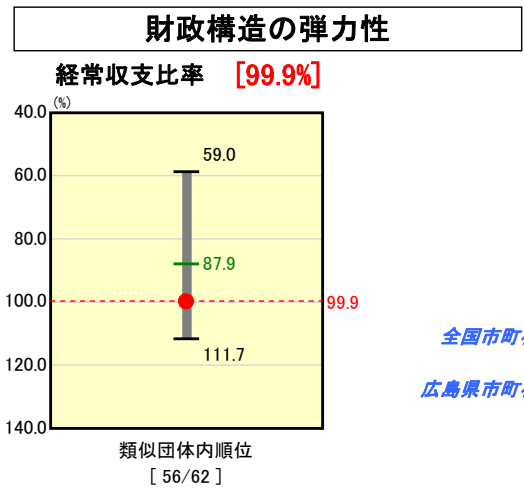
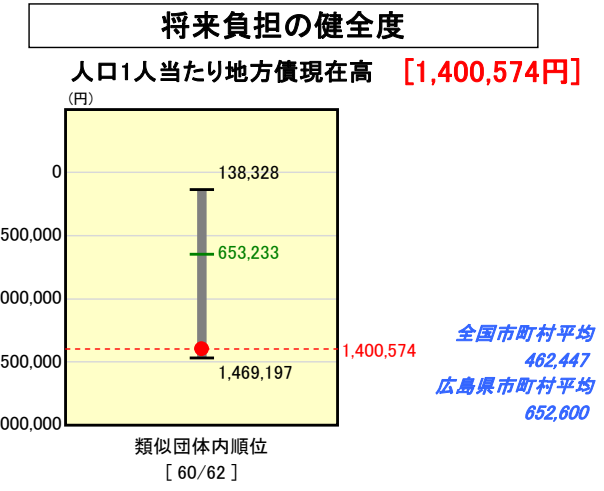
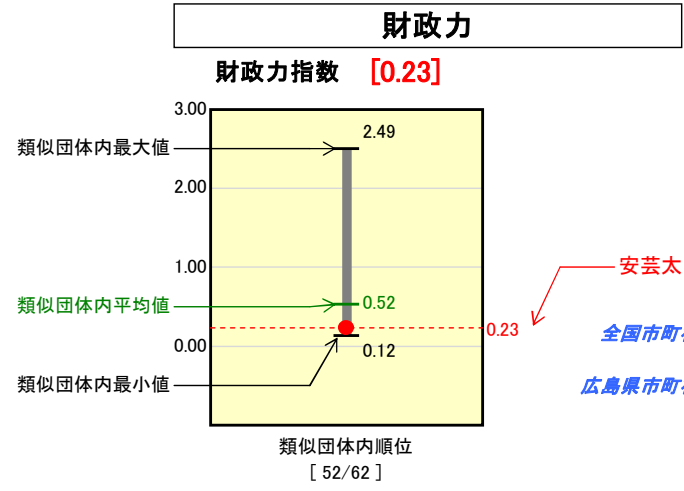


市町村財政比較分析表(平成17年度普通会計決算)

広島県 安芸太田町

| | | |
|------|-----------|-----------------|
| 人口 | 8,488人 | (H18.3.31現在) |
| 面積 | 342.25 | km ² |
| 歳入総額 | 9,949,660 | 千円 |
| 歳出総額 | 9,660,812 | 千円 |
| 実質収支 | 202,519 | 千円 |



※人件費、物件費及び維持補修費の合計である。ただし人件費には事業費支弁人件費を含み、退職金は含まない。

分析欄

【財政力指数】
・人口の減少や全国平均を上回る高齢化率(平成17年度末41.1%)に加え、町の財政基盤は弱く類似団体内平均値を0.29ポイント下回っている。税収は平成14年度以降僅かながら伸びているが、景気の低迷などにより個人・法人町民税は減少している。今後は施策の重点化に努め、歳入の削減を実施するとともに、行政の効率化に努めることにより財政の健全化を図る。

【経常収支比率】
・自主財源の乏しい本町にとって、普通交付税の減少が影響し、経常収支比率は99.9%と類似団体平均を12.0ポイント上回っている。また、前年度に比べ3.9ポイント上昇している。経常収支比率の高い経費は人件費の29.9%、公債費の27.6%であり、これらが主要な要因となっている。今後は定員管理の適正化などによる人件費の削減、起債依存型事業の抑制、事務事業の見直しを行い経費の削減に努め、行政改革への取組を通じて経常的経費の削減に努める。

【人口1人当たり人件費・物件費等決算額】
・類似団体平均に比べ高くなっているのは、人口1,000人当たり職員数が多いことや物件費では、町村合併による電算システム経費の再構築、本庁・支所機能の充実など合併に関する経費が増加したことによる。今後は、人件費の削減とともに事務的経費や委託費用の抑制を図る。

【ラスパイレズ指数】
・当該指数については、類似団体の中では中位に位置している。指数は平成16年度の93.5に対し92.7と0.8ポイント低下しているが、類似団体平均に対しては0.3ポイント上回っている。今後、引き続き定員適正化計画による給与総額の削減や給与カットの実施により指数の適正化に努める。

【人口1人当たり地方債現在高】
・地方債現在高は、類似団体平均、県内市町村及び全国市町村平均を大きく上回っている。地方債現在高は財政運営を圧迫する要因となり、償還は長期にわたり後世に負担を求めることとなる。新たな起債発行については、事業の重要性、緊急性及び住民ニーズ等を充分考慮し、起債に大きく頼ることのない財政運営に努め地方債残高の縮減に努める。

【実質公債費比率】
・普通建設事業に係る起債の償還や公営企業会計への繰出金等の増加により、類似団体平均を4.4ポイント上回っている。今後控えている事業計画の整理・縮小を図るなど、起債依存型の事業実施の見直しや公営企業会計の経営健全化を進め、類似団体の平均水準までの低下に努める。

【人口1,000人当たり職員数】
・平成16年10月の町村合併により、類似団体平均を7.1ポイント上回っている状況である。病院事業を設置している特殊性もあるが、今後、定員適正化計画に基づく退職者の不補充や組織・機構の見直しにより、今後5年間で職員数を15%~20%程度の削減をする等、より適正な定員管理に努める。